

菊澤研宗さんの【日本の強みを活かすダイナミック・ケイパビリティ論】



講師

慶應義塾大学商学部教授

菊澤 研宗 Kenshu Kikuzawa

【ハイブリッド】

丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です(※6/19は恵林寺のみ)。ご希望は事前にお伺いします。今後の状況によって【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。

激変する経営環境下で機能する最先端の経営戦略論

コロナ禍の中、いまや不確実や不安定や異常なことが社会の新しい状態(New Normal)となりつつあります。このような状況で、企業に必要とされるのは、「変化対応的な自己変革能力」つまり「ダイナミック・ケイパビリティ」だといわれています。今日、日本企業は、「働き方改革」の名のもとに、欧米流の経営へとシフトすることが要請されていますが、ダイナミック・ケイパビリティ論によると、むしろ従来の日本的な経営の方が優れているように思います。

本講座では、世界最先端の経営学といわれているダイナミック・ケイパビリティ論について説明し、不確実で不安定な状況でどのようにして日本企業の強みを活かすことができるのかを解説してみたいと思います。

菊澤研宗

4/24 ±

14:00-17:00

ダイナミック・ケイパビリティ論
の3つのルーツ

1

戦略経営論、企業境界論、起業家論

ダイナミック・ケイパビリティ論は戦略経営論の系譜、企業境界問題の系譜、起業家論の系譜といった3つのルーツを持っています。ダイナミック・ケイパビリティ論がどのようにして登場してきたのか、これら3つのルーツを辿ります。

6/12 ±

14:00-17:00

ダイナミック・ケイパビリティと
組織構造論

4

堅固な組織か、柔軟な組織か

今日、働き方改革のもとに欧米型の同一職務同一賃金制度(ジョブ型雇用)の導入が日本企業に求められています。しかし、環境が変化する状況で企業のダイナミック・ケイパビリティを有効に働かせるには、日本的な総合職ベースの組織(メンバーシップ型雇用)の方が効果的なのです。このことを、日米独の組織構造や社会構造の違いに言及しながら解説します。

5/8 ±

14:00-17:00

ダイナミック・ケイパビリティ論
と日本的な失敗

2

パラダイムの不条理とその解決

ダイナミック・ケイパビリティ論は戦略経営論の系譜、企業境界問題の系譜、起業家論の系譜といった3つのルーツを持っています。ダイナミック・ケイパビリティ論がどのようにして登場してきたのか、これら3つのルーツを辿ります。

6/26 ±

14:00-17:00

ダイナミック・ケイパビリティと
デジタル・トランスフォーメーション論

5

ロボット中心か、人間中心か

環境が絶えず変化する状況でダイナミック・ケイパビリティを有効に働かせるには、企業のデジタル化が効果的です。特に、デジタル・トランスフォーメーションの最先端に位置するデジタルツインについて日米独の思想の違いを説明し、ロボット中心の欧米思想よりも日本的な人間中心思想の方が有力であることを解説します。

5/22 ±

14:00-17:00

ダイナミック・ケイパビリティと
組織文化論

3

閉ざされた組織文化か、開かれた組織文化か

環境の変化に対応して企業のダイナミック・ケイパビリティが有効に働くには、自己正当化主義的な「閉ざされた組織文化」ではなく、K.R.ポパーが主張するような批判的で「開かれた組織文化」が必要であることを説明します。

7/10 ±

14:00-17:00

ダイナミック・ケイパビリティと
コーポレート・ガバナンス論

6

社外取締役中心か、社内取締役中心か

今日コーポレート・ガバナンス改革のもと、経営者の不正によって企業価値を減少させないために、日本では守りのガバナンスが重視され、米国流に社外取締役の比率を高めるべきだと言われていました。しかしダイナミック・ケイパビリティ論からすると、企業価値を高める攻めのガバナンスの方がより重要であり、それゆえ日本的な社内取締役の比率が高い方が良いことを解説します。

講座の進め方

講師による講義と事前課題の共有・ディスカッションを中心に進めます。事前課題はできるところまでで結構ですので自分なりに考えをまとめてみてください。講師からのフィードバックやクラスディスカッションでより考えを深めます。

日本の強み1「柔軟な組織」が変化対応を可能にする

日本企業はこれまで総合職、一般職、その他という大まかで柔軟な組織によって不確実に対応してきた。環境や状況が激しく変化する中で危機を敏感に感知し、適切なタイミングで組織を再編成して新たな組織への変容を実現するには、この「柔軟な組織」が強みとなる。

日本の強み2「人間中心主義」で自己変革を促す

長年日本企業は現場で出てきた想定できない暗黙知を活かすことで高品質の製品やきめ細かいサービスを実現し世界をリードしてきた。昨今デジタル化に伴い形式知への転換が迫られる中で、この「人間の暗黙知」を取り込むことがダイナミック・ケイパビリティの発揮ひいてはイノベーションにつながる。

日本の強み3「攻めのガバナンス」が価値を高める

90年代以降に受け入れてきた株主利益最大化を目的とする経営パラダイムではなく、かつての日本企業が実践していた従業員中心の多様なステークホルダー論に基づく経営には、ダイナミック・ケイパビリティとの親和性がある。

開催概要

日程	2021年 4/24、5/8、5/22、6/12、6/26、7/10 (すべて土曜日)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	14:00-17:00 (3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス/オンライン
参加費	110,000円 (税込)

講師プロフィール

菊澤 研宗 (きくざわけんしゅう)

1957年生まれ。1986年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。防衛大学校教授、中央大学大学院国際会計研究科教授を経て現職。その間、ニューヨーク大学スターン経営大学院客員研究員(1年間)、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員(2年間)として在外研究に従事。専門領域は経営学、組織の経済学、比較コーポレート・ガバナンス論、ダイナミック・ケイパビリティ論。

■主な著書

『D. J. ティース ダイナミック・ケイパビリティの企業理論』(翻訳・中央経済社)
『成功する日本企業には「共通の本質」がある「ダイナミック・ケイパビリティ」の経営学』(朝日新聞出版)
『ダイナミック・ケイパビリティの戦略経営論』(編集・中央経済社)
『改革の不条理 日本の組織ではなぜ改善がはびこるのか』(朝日文庫)
『組織の不条理 - 日本軍の失敗に学ぶ』(中公文庫)
『ビジネススクールでは教えてくれないドロッカー』(祥伝社新書)
『戦略の不条理 なぜ合理的な行動は失敗するのか』(光文社新書)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agera.net/>



講座名	菊澤研宗さんの【日本の強みを活かす ダイナミック・ケイパビリティ論】	<input type="checkbox"/> agoraメンバー シップに申し込む
会社・ 団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。開催形態は開講1カ月前までに決定いたしますので、開催形態を理由としたキャンセルの場合も上記開講日までの日数に応じたキャンセル料が発生します。いかなる場合も、参加費の支払のないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<https://www.keiomcc.com/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度(個人申込みのみ・各10%・併用不可)

夕学五十講は慶應カード割引のみ適用

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい [<input type="checkbox"/> 継続受講割引 <input type="checkbox"/> 慶應カード割引]
--

【複数申込割引】

ビジネススクエアプログラム、先端・専門プログラム、ageraの中から一人で複数同時に申し込んだ場合、参加費が10%割引となります。

【継続受講割引】

過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以上以内に申し込んだ場合、参加費が10%割引となります。過去に法人で参加した方も、個人で参加する場合は対象となります。

【慶應カード割引】

慶應カード会員の方が個人で支払う場合、参加費が10%割引となります。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員・学生を対象としています。

お問い合わせ先

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階

株式会社慶應学術事業会

TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。